

令和元年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議における主な意見等

「基本目標① 定住する若い世代をふやす」について

- 1 子育て世代包括支援センターについて、市民の認知度も大切であると思うが、どのようなニーズがあって、そのニーズに対応できているかが大切だと思う。
- 2 定住する若い世代がふえることによって、基本目標②の経済効果につながっていくようなながれができると良い。
- 3 K P I の子育て世代包括支援センターの認知度について、全世代の市民が知っていることも大事だと思うが、やはり子育て世代またはこれから子育てをしていく方たちが知っていることが大事だと思う。
具体的な施策に落とし込む際には、住民登録の手続きをする方にリーフレットを配布するなど、市役所内で部署を超えた連携を図っていくことが重要である。
- 4 地域防災リーダーの養成は全国的にも取組が広まっている。防災は誰にでも関係するという意味で、防災から始まってまちづくり、教育、子育てなどに入っていき、各分野の取組に入っていきプラットフォームのような部分があるので、地域防災リーダーが充実することは非常に重要である。

「基本目標② 市の「強み」を生かして経済効果を生む」について

- 1 名古屋に近いという立地は、利便性が高いという反面、名古屋に働きに出てしまうということがある。市内の事業所からは、働き手の確保が難しいという話も聞いており、強みと弱みを認識した上で、そういったことへの対策も必要である。
- 2 事業を立ち上げる人に外から来てほしいという反面、名古屋のベッドタウンとして人口が増えれば、飲食店や小売店も潤うのではないかなと思う。
数値目標が創業比率や事業所数なので、もう少し間接的な指標を設定しないと、ベッドタウンとして住む方から見ると違和感があるかもしれないと感じる。
- 3 基本目標は三つに分けているものの、相互に連動することが大事で、最終的に人口増加につながると良いと思う。
- 4 地元で今頑張っている小規模事業者の方たちが、これからさらに頑張れる、潤えるという状況になることが大事だと思うので、そういった状況を測定できる指標があると良いのではないかな。

- 5 観光関係の取組に関するK P Iとして、新清洲駅前の信長の像など市内にある観光スポットの市民認知度を設定してはどうか。外から観光客に来ていただく以前に、市民の認知度を上げていくことは大事である。
- 6 基本目標や数値目標に対して、具体的な取組やK P Iとの距離感が遠いので、違和感を感じる。
- 7 K P Iの「観光協会ホームページのアクセス件数」について、アクセス件数の増加は大事だが、ホームページの内容が本当に良くなっているのかということが大事である。
- 8 瀬戸市の陶器、西尾市の抹茶やうなぎ、高浜市の三州瓦のように、清須市にはこれという地場産業がないので、何を売りにするかという歴史と観光が柱になるのではないかな。
- 9 きっかけづくりとして、学生さんや市民の方、事業者の方と一緒に、「清須市の良さを売り出すというのは、どういうことなのか」を考える勉強会を開催するところから始めてみてはどうか。
- 10 今後5年間を見通して具体的な取組を定めることは難しいと思うので、長期的な視点で基本目標を意識しつつ、今できる取組を広げていくのが良いのではないかな。

「基本目標③ 人を育て・つなげて地域を活性化する」について

- 1 K P Iの「職員を対象とした研修会の開催」について、目標値が「毎年度開催」となっているが、ぼんやりとした指標なので他の指標が設定できないかな。
- 2 K P Iの「職員を対象とした研修会の開催」について、研修に係る職員の満足度や、実際に仕事に生かせる内容だったか、また生かすことができたかといったことをアンケートで聞いて、それを指標として設定してはどうか。
- 3 人数や回数がK P Iに設定されているが、今後取組を進めていく中で、質の向上の部分についても指標をとっていけると良いと思う。
- 4 三つの基本目標について、5年後の計画ではもっと横断的な目標の組み方ができると良いと思う。昨年度の会議資料に新潟県村上市の「黒塚プロジェクト」が出ていたが、地域の方による取組が観光につながり、最終的には住みやすいまちになるという良い例だと思う。